

# 川合市長の3期目がスタート

## 市議会第3回定例会における所信表明

私はこの9月に三たび、美濃加茂市長に就任し、その責任の重大さを強く認識しています。また、市民のみならず、市民からの負託にこたえるため、献身的な努力をしなければならぬと決意を新たにしています。

美濃加茂市は、3年後に市制施行50周年を迎えます。激動の20世紀後半のまちづくりを、必死になって推進して頂きました。多くの先人のご尽力に対し、心から敬意と感謝の意を表すとともに、21世紀初頭の新しい美濃加茂市づくりに、市民とともに挑戦しなければならぬと自覚しております。

特に、昨今の我が国の政治経済は極めて厳しい環境にあります。そうした中、国民の政治として改革に対する関心と期待は大いに高まっていると考えます。

私は、市民の市政に対する要求も、また複雑多岐にわたり厳しいものがあると認識し、2期8年間の点検、反省の上に立つて、今後の市政運営に対処しなければならぬと思います。

2期8年を振り返り、これまで市長として、「愛と信頼」を理念とし、職員とともに人間性を磨き、市民の立場に立つて努力することをお誓

いし、「美しい自然と温い人情に育まれた地方都市」「交流のまち」を目指し、「将来を見通した基幹となる事業と今やらなければならない、キメの細かい施策をバランス良く進める」と申し上げてきました。

そうした立場に立つて、第3次総合計画の着実な推進と、市民参加のもとに第4次総合計画の策定、下水道、道路、公園、土地区画整理、駅周辺整備をはじめ、教育文化・福祉施設整備など基幹となるまちづくりを進めてきました。

一方、情報公開、環境、介護保険、男女共同参画社会、中心市街地活性化、情報化への対応、教育文化・福祉施設の刷新、健全財政堅持など、時代と市民の要望に添った各種の施策に着手し、推進することができました。

しかし、市政において、職員の意識改革を含む市民満足度の向上、行財政改革、市民要望事業への対応などについて反省するところが多くなります。

また、美濃加茂都市開発株式会社の特別清算については、市をはじめ株主、融資などに多大なご迷惑をおかけしたことは、心から反省しお詫び申し上げます。

現在、多くのみなさまのご理解とご支援により、ホテルを中心に商業ビルとして運営されていることは感謝に堪えません。私にとりまして、大きな教訓となりました。

さて、これからの4年は美濃加茂市にとって重要な時期にあります。

2000年国勢調査で、市の人口は、50、062人となり、都市としての基準に達するこ

### 別表1 市政運営の基本

健全財政の堅持  
50年の間にほぼ整備されてきた、都市施設・組織制度を再点検し、内容の充実、発展  
情報化・国際化・少子高齢化という新しい時代の潮流を常に意識  
地域の安全と世界の恒久平和のための努力

### 別表2 市政の具体的な施策

個別計画の策定  
環境基本計画・男女共同参画社会推進計画・中心市街地活性化計画・第三次行政改革大綱  
市行政事務「ISO9001」国際認証取得と維持・改善  
全市下水道化事業の推進と上水道自主水源施設の改修  
東海環状自動車道開通と平成公園オープンに対応する交流のまちづくり  
子育て支援の更なる推進  
新しい時代の教育文化振興策として、小中学校学習支援と生涯学習の活性化とその施設整備  
身近な高齢者福祉施設の整備  
市町村合併の研究と対応



子育て支援センターの利用風景。毎回、多くの利用者がある。

とができ、人口増のみが都市活力の指標であるとは考えませんが、長年にわたる一つの目標が達成できたとの思いがあります。

そうした市民活力を基礎に、「まちに元気、人にやさしさ、くらしに環境」の第4次総合計画を着実に推進しなければなりません。また市としては、平成16年に市制50周年、平成17年には東海環状自動車道が開通するという、節目の時にあたります。

こうした時、今後4年間の市政運営の基本として、別表1のように考え、その具体的な施策として、別表2で掲げる課題があります。

また、この他にも、多くの施策が考えられますが、初心を忘れず身を正し、市政の基本を念頭に、市議会をはじめ、みなさんと協議し、計画的に推進したいと思えます。



10月から本格稼働した道達ネット。学校の情報を地域や家庭に公開するなど、学校と家庭との交流を深めます。写真は生徒用の道達ネットを閲覧している風景。



東海環状自動車道美濃加茂I・C工事現場。写真の左手に平成記念公園が整備される。